

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		財政事務費 [財政状況の公表事務]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 4	財産管理費	事業番号	1	
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名		財政 課 財政担当			係	課長名		鈴木 俊也	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書 (ページ)	122			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民			住民登録人口					
	→								
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	市の財政状況を市民に知ってもらう。			市民意識調査において、「市の行財政運営の取組に対する評価について」の設問に「よく取り組んでいると思う」と回答した市民の割合。					
	→								
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	毎年度、上半期(4~9月)及び下半期(10月~3月)の財政状況、財務書類、前年度決算、当初予算の概要について、市報及びホームページで公表している。 令和2年度は、新たに森林環境譲与税の使途、地方消費税交付金の使途についてホームページで公表した。			①財政状況の公表告示数 ②市報及びホームページによる(決算・予算含む)公表回数 ③財務書類、森林環境譲与税の使途、地方消費税交付金の使途のホームページ上での公表回数。					
	→								
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標			
			平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標		
対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294				
成果指標	②の数値	%	6.2	5.5	5.3				
目 標	②の目標値	%	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7		
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)									
総合計画における成果指標として、令和3年度までに8.7%を達成することを目標値としている。									
活動指標	③の数値	①回 ②回 ③回	2 5	2 5	2 5 2				
3 経費	事業費(実績)		円	2,930,580	2,042,150	1,637,350	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	2,930,580	2,042,150	1,637,350			
		特定財源	円						
	(うち受益者負担)		円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.5	0.5			0.5
		所要人数(再任用)		人					
職員人件費(再任用以外)		円	4,122,000	4,155,000	4,190,000				
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	7,052,580	6,197,150	5,827,350				
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く								
	市の財政状況について、わかりやすい説明や事業別の行政コストの明示を求められている。								
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く								
	市報や統一的な基準による財務書類の公表資料については、イラストや例示(家計に例えた場合)などを記載することにより、わかりやすい財政状況の公表に努める。また、一部事業の事業別の行政コスト計算書の作成を進める。								